



夏期開園期間は11月3日(木・祝)まで。期間中の休みはありません。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

夏も誕生しています！

元気いっぱい新しい命！

夏生まれの赤ちゃん、巣立ちしたばかりのヒナ。春〜夏にかけてが園内の出産ラッシュと春にお知らせしましたが、6月末から7月下旬にかけても、新しい命が誕生しています。7月に生まれたテナガザルの赤ちゃんも元気に成長中。ぜひ、親子の姿を観察しに来てくださいね。また、夜の動物園の最終日には、募集していた2頭のアムールトラとユキヒョウの仔の愛称が決まりました。これからの成長が楽しみな猛獣の仔たちです！



シセンレッサーパンダ



シロテナガザル

7/11、モンロー(母)とテルテル(父)とのあいだにオスの赤ちゃんが誕生。モンローは2年ぶりの出産となります。赤ちゃんはモンローや、兄のこだまと同じ黄土色の体毛に覆われています。赤ちゃんの離乳は1年半ほど。最近では、兄のこだまに抱かれています。【8/8撮影】

6/28、父・チャーミンと母・渝渝のあいだに2頭の赤ちゃん(オスとメス)が誕生。昨年に続く2度目の出産です。赤ちゃんは生後3か月間ほど母親と寝室ですごします。生後約2か月、毛色も親と同じ色になってきました。放飼場デビューは秋の予定。【8/11撮影】

コノハズク

7/20、旭山動物園では、4年ぶりにふ化し、8/5に巣立ちしたコノハズクのヒナ(写真左の2羽)。成鳥でも20cmほどで、日本で見られるフクロウの仲間の中で最も小さい種類です。ヒナはどれか、北海道産動物舎でじっくり観察してみてくださいね。【8/6撮影】



たくさんの応募からアムールヒョウとユキヒョウの仔の愛称が決まりました！

8/15、春に生まれたアムールトラ(オスとメス4/8生まれ)と、ユキヒョウ(オス・4/19生まれ)の命名式が行われました。アムールトラが「夢」「希望」、ユキヒョウが「光」という意味をもつ愛称に決まりました。行動はまだ幼いですが、だいぶ猛獣っぽくなってきました。ぜひ、成長の過程を見に来てくださいね。



ナージャ(メス)



ソーン(オス)



リヒト(オス)

これから開催のイベント

- 9/10(土) 絵本の読み聞かせ【動物図書館】
- 9/22(祝)～11/3(祝) 第48回児童動物画コンクール入賞作品展【学習ホール】
- 9月のワンポイントガイド 4(日)、11(日)、18(日)、19(祝)、22(祝)、25(日)

- 10/8(土) 絵本の読み聞かせ【動物図書館】
- 10月のワンポイントガイド 2(日)、9(日)、10(祝)、16(日)、23(日)、30(日)

アムールトラは、その名のとおり、ロシアのアムール川周辺などに生息しています。愛称は、共に生息地の言葉・ロシア語で、オスは「夢」を意味する「ソーン」、メスは「ナージャ」で「希望」を意味します。オスの「ソーン」と比べて、体が小さい方がメスの「ナージャ」です。放飼場で見比べてみてください。

「リヒト」とはドイツ語で「光」。絶滅危惧種のユキヒョウ。この仔が「希望の光になってくれたら」という思いで命名されました。母・ジーマ(右)がドイツの動物園から来園したことからドイツ語の愛称に。

動物図書館の「おいがみえほん」に「ワオキツネザル」が仲間入り！

子ども牧場の隣にある、動物図書館(動物資料展示館2階)では、動物に関する本や絵本が読めるだけでなく、園内にいる動物の特徴について知ることができ、持ち帰ることができる「おいがみえほん」を作ることができます。今回の新作は、サル舎の「ワオキツネザル」。ぜひ、作りに来てくださいね！お待ちしております。



※「旭山動物園に聞いてみよう！」コーナーはお休みです